

令和元年度 ICT導入支援事業 実績報告まとめ(概要)

○実施都道府県数…15県

青森県、石川県、山梨県、愛知県、三重県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、愛媛県、高知県、長崎県、大分県、宮崎県

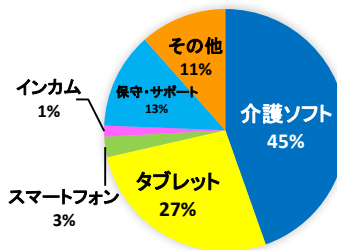
※ただし、山梨県は事業者からの応募がなかったため実績なし

○概要

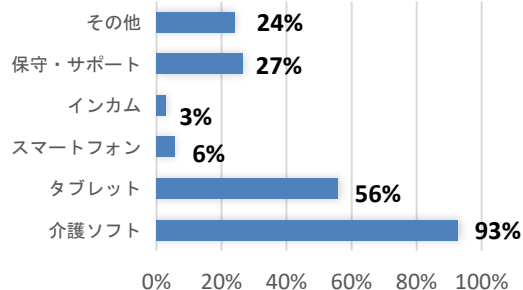
- 全体で、107法人 195事業所に、合計406件の導入支援を行った。
- サービス種別毎の導入件数は、介護老人福祉施設66件、通所介護事業所61件、訪問看護事業所47件、居宅介護支援事業所42件 等であった。
- 製品種別ごとの導入件数は、介護ソフト181件、タブレット109件、スマートフォン11件、インカム6件 等であった。
- 導入した製品の用途は、記録業務184件、情報共有業務185件、請求業務148件(重複あり)であった。
- 導入した介護ソフトを使用している端末は、デスクトップPCは96件、ノートPC114件、タブレット22件、スマートフォン10件(重複あり)であった。

○事業所区分・製品種別

全導入製品に対する割合

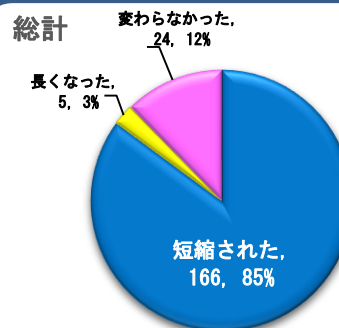


全導入事業所に対する割合

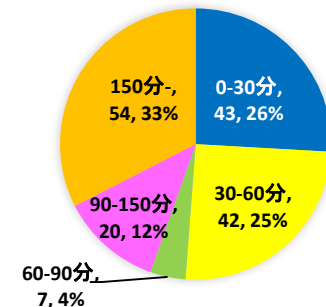


1. 間接業務の時間

総計



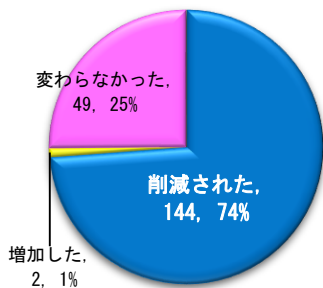
短縮された時間



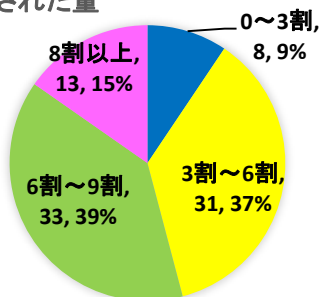
※1ヶ月・1人あたり

2. ケア記録等の書類の量

総計



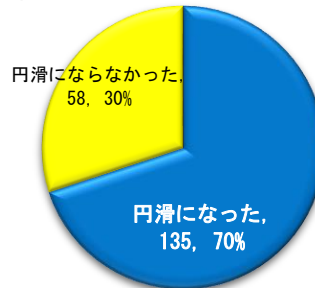
削減された量



※1事業所あたり1か月の平均

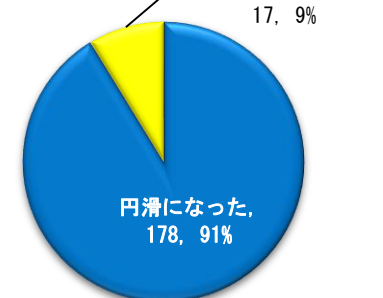
3. 事業所外との情報連携

総計



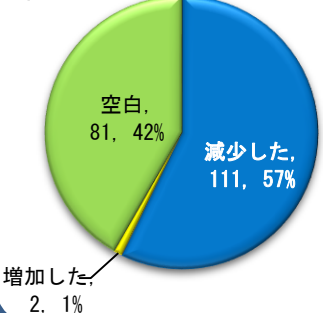
4. 事業所内の情報連携

総計



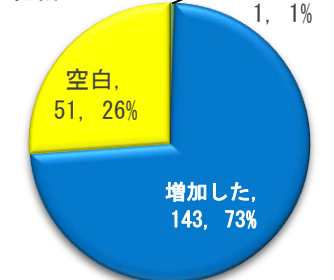
5. 転記誤り等の単純な誤り

総計



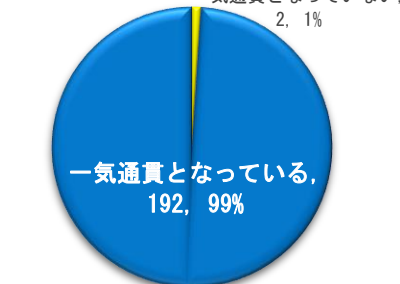
6. 直接ケアにあたる時間

総計



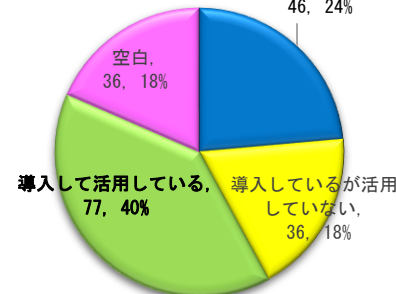
7. 一気通貫

総計



8. 標準仕様

総計



ICT導入における成果と課題

○成果

【事業所運営・支援の質に関すること】

- 事業所分析が充実した(サービス実態、実地指導用資料作成、収入や人数等の各種統計資料作成 等)
- 業務が効率化された(事務遂行のための事務所立ち寄りの減、予定管理の効率化 等)
- 勤務態勢が改善された(超過勤務の削減、動線の変更 等)
- 業務上のミスが減った(転記ミスの減少 等)
- 支援の質が上がった(家族への正確な情報提供 利用者支援に充てる時間の増 等)
- 職員の心理的負担が減った(ストレス軽減 等)

【記録に関すること】

- 記録が充実した(読みやすさ、誤字脱字の減少、内容の充実、管理しやすさ等、)
- 記録に要する時間が削減された。
- 文書量が削減された
- ケアプランが充実した(ケアマネジャーへの円滑な報告、各種計画・実績報告作成時間の短縮、内容の充実、作りやすさ向上等)

【情報連携・共有に関すること】

- 事業所内の情報共有が円滑になった(話し合い時間の増、円滑な申し送り、リアルタイムな情報共有 等)
- 事業所外との情報共有が円滑になった(ケアマネジャーとの連絡、家族との連絡 他事業所との連絡 等)

○課題

【事業所運営・業務に関すること】

- 導入コストに課題がある(必要なPCの不足 等)
- 職場内のルール、業務フローに課題がある
- かえって時間や文書量の負担が増えた
- 事業所のセキュリティ体制に不安がある

【支援の質に関すること】

- かえって職員間・家族とのコミュニケーションや振り返りが不足した
- PCが得意でない方の入力内容が薄くなった

【職員のスキルに関すること】

- 介護ソフトに関する研修が出来ていない
- 職員のICTスキルが不十分(慣れていない、使いこなせない)

【機器・ソフトウェアに関すること】

- サービス内容と、機器やソフトの機能が合っていない
- 機器やソフトウェアの性能やサポート体制に不安がある
- 他システム等との連携が十分でない(一気通貫になっていない 等)
- 外部との連携が不十分

【その他】

- 導入して間もないため、効果を実感できていない。